

令和8年 第1回 教育委員会定例会会議録

- 1 招集日時 令和8年4月22日（水） 午前10時00分
- 2 招集場所 大崎生涯学習センター 視聴覚室
- 3 出席者 1番委員 熊野 充利 2番委員 鎌田 稔
3番委員 浅野 奈美 4番委員 戸田 康子
5番委員 大森 真智子
- 4 欠席者 なし
- 5 説明員 教育次長兼総務課長兼生涯学習センター長 水上 吉治
総務課長補佐兼総務係長 松浦 善博
生涯学習係長 勝井 一徳
総務係主幹 大里 洋樹
- 6 会議録書記者 総務係主幹 大里 洋樹
- 7 開会時刻 午前10時00分
閉会時刻 午前11時10分
- 8 前回会議録の承認 承認
- 9 会議録署名委員 2番委員 鎌田 稔
3番委員 浅野 奈美
- 10 報告 (1) 令和8年度大崎生涯学習センター事業計画について
(2) 令和8年度大崎地域広域行政事務組合教育委員会一般会計歳入歳出予算について
(3) プラネタリウム番組制作業務（秋冬・冬春番組）の進捗状況について
(4) 大崎生涯学習センター事業経過報告について
(5) ネーミングライツ事業について（経過報告）
- 11 その他

会 議 の 経 過

開会 午前 10 時 00 分

(熊野教育長)

それでは、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 14 条第 3 項の規定により定足数に達しておりますので、本組合教育委員会会議規則第 9 条の規定に基づき、ただ今より、令和 8 年第 1 回教育委員会定例会を開会いたします。

(熊野教育長)

会議に先立ちまして、先程、私の方から辞令交付がありましたとおり、お二人の委員が去る 3 月 23 日の大崎広域組合議会定例会において満場の御同意をいただき、本組合教育委員会委員に任命されましたので御報告いたします。

それでは、鎌田稔委員と浅野奈美委員から御挨拶を頂戴いたします。

鎌田委員をお願いします。

(鎌田委員)

加美町教育委員会教育長の鎌田稔と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

学校現場を退職し、4 年半教育委員を務め、その後教育長に就任し、今年で 6 年目を迎えます。今後とも、皆様からの御指導をいただきながら職務に努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(「よろしくお願いいたします。」という声あり)

(熊野教育長)

続いて、浅野委員をお願いします。

(浅野委員)

色麻町教育委員の浅野奈美と申します。保護者の立場として教育委員を務め、5 年になります。どうぞよろしくお願いいたします。

(「よろしくお願いいたします。」という声あり)

(熊野教育長)

よろしくお願いします。それでは、私達も自己紹介が必要ですね。戸田委員から順番にお願いします。

(戸田委員)

涌谷町教育委員会の教育委員の戸田と申します。どうぞよろしくお願いします。

(「よろしくお願いします。」という声あり)

(熊野教育長)

続いて、大森委員お願いします。

(大森委員)

美里町教育委員会の教育委員の大森真智子と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

(「よろしくお願いします。」という声あり)

(熊野教育長)

最後に私ですね。熊野充利と申します。現在、大崎市教育委員会の教育長、並びに本組合教育委員会の教育長を兼務しており、このたび丸8年を迎えました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

(「よろしくお願いします。」という声あり)

(熊野教育長)

それでは、会議の本題に入りたいと思います。ここで、水上教育次長からの発言の申し出がありましたので、これを許します。

(水上教育次長)

あらためまして、おはようございます。それでは、事務局職員の紹介をさせていただきます。

お手元の事務局職員名簿を御覧ください。この春の人事異動により、今年度の職員体制は、お手元の事務局職員名簿のとおりとなっております。熊野教育長以下 13 名で事務に当たってまいります。どうぞよろしくお願いいたします。教育委員会説明員として新たに加わった職員は、私、水上教育次長兼総務課長兼生涯学習センター長でございます。

前任の岩村敏昭 前課長補佐兼総務係長は、東部クリーンセンター長として異動し、久保庭唯 前生涯学習係主事は、事務局総務課人事厚生係へ主査として異動しました。

松浦課長補佐，大里総務係主幹，勝井生涯学習係長の3名は，引き続きお世話になります。

松浦は，生涯学習専門員から課長補佐兼総務係長となります。

以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

(熊野教育長)

よろしくお願いいたします。はじめに，教育長職務代理者を指名します。教育長職務代理者については，「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第13条第2項において，教育長が指名することとされておりますので，私から指名させていただきます。これまで，慣例により，組合を構成する4町のうち，教育長の職にある方をお願いをしておりました。今回は，鎌田委員にお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

(「異議なし。」という声あり)

(熊野教育長)

それでは，鎌田委員に教育長職務代理者をお願いします。

(鎌田委員)

承知しました。

(熊野教育長)

続きまして，席次番号の指定について水上教育次長，説明願います。

(水上教育次長)

教育委員会の席次については，1番に教育長，2番に教育長職務代理者となります。3番から5番までについては，これまでの慣例により，組合規約に掲げられた構成市町の順番，3番色麻，4番涌谷，5番美里としておりますので，御協議をよろしくお願いいたします。

(熊野教育長)

ただ今の件につきまして，水上教育次長の説明のとおり，慣例により席次を指定することに，御異議ございませんか。

(「異議なし。」という声あり)

(熊野教育長)

それでは、席次を指定いたします。1 番 熊野教育長，2 番 鎌田委員，3 番 浅野委員，4 番 戸田委員，5 番 大森委員とさせていただきます。

机上の札は現在，それぞれの町名を表示しております。お手数をおかけいたしますが，1 枚めくっていただきますと，席次とお名前が表示されますので，御確認のほどよろしく願いいたします。

(熊野教育長)

前回教育委員会会議録の承認を求めます。事前にお送りした会議録の写しをもって報告に代えさせていただきます。何か，御質問等はございませんか。

(「ありません。」という声あり)

(熊野教育長)

質問がないものと認め，承認いたします。

(熊野教育長)

次に，会議録署名委員を指名いたします。2 番 鎌田委員，3 番 浅野委員にお願いします。

(鎌田委員，浅野委員)

承知しました。

(熊野教育長)

御報告いたします。本組合教育委員会会議規則第 5 条第 1 項の規定により，本日の定例会は公開としておりますが，傍聴者については，おられないことを報告いたします。

(熊野教育長)

続きまして，教育長報告をいたします。

はじめに，令和 8 年第 1 回組合議会定例会におきまして，先ほど御挨拶いただきました鎌田稔委員，浅野奈美委員の任命につきまして満場の同意をいただき，当組合教育委員に任命されたことを御報告いたします。

組合議会定例会は，3 月 23 日，組合本庁舎 5 階講堂において開催され，本組合教育委員会からは，説明員として，教育長と遊佐教育次長が出席いたしました。教育委員の任命同意のほか，副管理者の選任，条例の一部改正が 3 案件，令和 7 年度一般会計補正予算及び令和 8 年度一般

会計予算，財産の取得が1か件，計9議案が審議され，すべて原案のとおり同意・可決されました。

なお，令和8年度一般会計予算に関連して，中鉢和三郎議員から視聴覚事業のメディア教育についての質疑がありました。遊佐教育次長から，現在の取組と今後の見通し等を説明し，御理解をいただきました。

続いて，大崎生涯学習センターの設備更新事業の実施状況について報告します。令和7年度中に実施予定でありました伝統文化室修繕と自動火災報知設備修繕につきましては，無事計画通りに完了いたしました。引き続き，安全・安心な施設管理に努めてまいります。

以上，教育長報告とさせていただきます。

(熊野教育長)

ただ今の報告事項について，質問等ございませんか。

(「ありません。」という声あり)

(熊野教育長)

御質問がないようでありますので，教育長報告は以上とさせていただきます。

(熊野教育長)

それでは，議事に入ります。今回は，報告事項が5件ございます。はじめに，(1)令和8年度大崎生涯学習センター事業計画について，事務局より説明を求めます。

水上教育次長。

(水上教育次長)

それでは，パレットおおさき改め，パレットふるしんホール，大崎生涯学習センターの令和8年度事業計画について，説明させていただきます。なお，ネーミングライツにつきましては，後ほど担当の方から詳細な説明をさせていただきますので，この場では割愛をさせていただきます。着座にて失礼いたします。

報告(1)の資料1ページを御覧ください。令和8年度の重点目標は，令和7年度同様に，1つ目は「夢づくり」のためのプラネタリウム，生涯学習事業の充実，2つ目は「人づくり」を目指した生涯学習の推進，3つ目として「地域づくり」のための地域に根差した生涯学習体制，そして，4つ目に関しては，前年度までは，安全・安心な施設運営としていましたが，新たな愛称のもとで，より親しみやすく地域に愛される施設づくりを目指す目的として，「より愛される施設づくりと利便性の向上」とし，なお一層，大崎地域の生涯学習振興に寄与するよう

努力してまいります。

大崎生涯学習センターは今年、開館 28 目を迎えます。各種生涯学習事業を通じ、世代や地域を越えた交流と学び合いの場が活発化している姿が見られるとともに、特に若い世代のボランティアの育成が進んでおります。その一方で、建物や設備の経年劣化に伴い、施設の維持経費が増大している現状も見られます。昨今の燃料費や物価の上昇に対応するとともに、今後の多目的ホールの舞台・照明設備等の更新事業の実施に向け、自主財源をいかに確保するかが課題となっております。

そのため、施設の維持に係るコスト算定と適正な受益者負担の考え方を踏まえた施設使用料の見直しについて取り組んでおり、令和 8 年 4 月から、料金改定を行っているところであります。また、先ほども説明しましたが、本年 4 月からパレットふるしんホールとして、新たな一歩を踏み出したところでもあります。

(1) から (3) の夢づくり、人づくり、地域づくりの具体的な取り組みとして、資料 2 ページ以降、生涯学習系の事業計画を掲載しております。

2 ページ、3 ページのプラネタリウム事業では、一般投影と学習投影・団体投影のほか、みんなの天文教室や 3 ページの星をみる会、パレット星空音楽会、親子天文教室、リラクゼーション投影熟睡プラ寝たリウム、プラネタリウム番組検討委員会、天文ボランティア活動支援、天文講演会、各種出前講座対応、講師派遣を実施してまいります。

プラネタリウム学習投影に関連しまして、大崎ふるさとづくり基金の果実を活用し、バス運行を支援する「プラネタリウム学習支援事業」を実施いたします。令和 7 年度は、大崎圏域内の小学校 35 校中 30 校が利用しており、自前の交通手段で来館した 4 校と、複式学級のため令和 7 年度はプラネタリウム学習そのものを利用しなかった 1 校を合わせると、学習支援事業を希望する全ての小学校にプラネタリウムを利用していただいたことになります。この支援事業は、プラネタリウムの利活用を高める上で極めて大きな効果が認められることから、継続して実施してまいります。

4 ページを御覧ください。

生涯学習推進事業では、1 番目に記載しておりますが、体験型ワークショップや講演会、各種学習会等の生涯学習講座、工作・理科実験教室等を行う、こんなのやってみよう、小さなこどものまち、パレット夏まつり、人形劇フェスティバル、イベントボランティア育成などを実施してまいります。

また、昨年度から新たに取り組みを始めた試みですが、生涯学習係と業務課のリサイクル担当係がタッグを組んで、家庭におけるごみの分別や資源の有効活用への関心を高めることを目的とした、子どもたちに対する環境教育をパレット夏まつりなどを通して今後も進めてまいります。

5 ページを御覧ください。

視聴覚事業では、視聴覚教材を先生方や社会教育関係職員に選定いただく専門部会、各種パソコン講座、16 ミリ映写機操作技術講習会、パレット映画会、動画投稿サイトを活用した自作教材の配信事業「パレット映像館」、視聴覚教材・機材の貸し出しなどを実施してまいります。

これらの事業は、令和7年度とほぼ同様の事業の継続となっておりますが、令和8年度からは、7に記載しているメディア情報講座を、新たに開催いたします。こちらは教職員の方や圏域住民の方々のメディア・情報教育の向上を目的に開催するものであります。また、10 番の従来のICTスタッフを「メディア・情報ボランティア」に改称して、パソコン講座や視聴覚教材・機材等を活用して「メディア・情報ボランティアの育成」を目指します。

また、この資料にはありませんが、令和8年1月に、組合全体のウェブサイトを更新したことに伴い、生涯学習センターでも、令和8年度から施設の予約や事業申込システムのオンライン化を導入しており、貸館業務等の円滑な運用と、更なる効率化を目指してまいります。

以上、各種事業計画について説明いたしました。今年度も圏域住民の学習ニーズに応えながら、魅力のある事業の立案・企画、安全・安心な施設運営に心掛け、事業運営に取り組んでまいりますことを申し上げ、報告（1）とさせていただきます。

（熊野教育長）

ただ今の説明について、御質問等はありませんか。

（「ありません。」という声あり）

（熊野教育長）

御質問がないようですので、（1）令和8年度大崎生涯学習センター事業計画については、了といたします。

（熊野教育長）

続きまして、（2）令和8年度大崎地域広域行政事務組合教育委員会一般会計歳入歳出予算について、事務局より説明を求めます。

松浦総務課長補佐。

（松浦総務課長補佐）

それでは、令和8年度大崎地域広域行政事務組合教育委員会一般会計歳入歳出予算についてご説明申し上げます。着座にて説明させていただきます。

前回の教育委員会におきましては、12月13日時点での事務局長査定前の金額でありましたが、皆様に協議をしていただきました。その後、12月17日に副管理者査定、年明け令和8年1月15日に管理者査定、1月28日に行われた構成市町副市町長・財政主管課長会議を経て、3月23日の組合議会定例会において予算議案で可決いたしました。

その結果、教育委員会が所管する令和8年度予算は、資料1ページから3ページの予算対照表のとおり、歳入歳出ともに、1億7,402万2,000円となり、令和7年度の1億8,679万5,000円に対し、1,277万3,000円、率にして、6.8%の減になった次第でございます。

主な項目のみ、あらためて説明いたします。

まずは、2ページの教育委員会歳入予算対照表を御覧ください。

1款1項1目分担金及び負担金は、1億6,078万3,000円で前年度と比較し、1,450万9,000円の減です。

次に、2款1項3目使用料及び手数料、教育使用料は、941万2,000円の計上です。そのうち、2節の社会教育使用料は838万円で、その内訳は、多目的ホールや視聴覚室、研修室などの施設貸館使用料492万4,000円、プラネタリウム観覧料345万6,000円です。

次に、5款1項1目財産収入、利子及び配当金は、217万8,000円の計上、3目施設命名権収入は、77万円の計上です。

9款2項1目諸収入、雑入は、87万9,000円の計上となっております。

次に、3ページの歳出予算対照表を御覧ください。

2款4項1目自治振興費は、217万8,000円の計上です。

6款1項教育総務費は、7,797万6,000円の計上で、前年度8,997万5,000円と比較して1,199万9,000円の減で、主な要因は職員人件費の減によるものです。

2項社会教育費は6,964万4,000円の計上で、前年度の7,031万5,000円と比較して67万1,000円の減です。1目生涯学習管理費は、3,746万1,000円の計上で、前年度の3,682万4,000円と比較して63万7,000円の増であります。主な要因は、空調保守点検業務委託料の増によるものです。

同項2目生涯学習振興費は、生涯学習係所管のプラネタリウム事業、生涯学習推進事業及び視聴覚事業に要する経費で3,218万3,000円の計上、前年度の3,349万1,000円と比較し、103万8,000円の減であります。主な要因は、視聴覚事業備品購入費の減によるものです。

7款公債費は、平成28年度にプラネタリウム機器大規模工事を実施した際の、起債の元利償還金で、2,322万4,000円の計上です。償還方法が元金均等方式でありますことから、元金は前年度同額で、利子は前年度より低い金額となります。総額は2億900万円の起債で、支払期間は平成29年9月から令和9年3月までとなっており、年間の償還額は約2,322万円となっており、今年度で償還が終了する予定でございます。

8 款予備費は、100 万円で前年度と同額の計上となっております。

以上、ご説明いたしました但、厳しい財政状況が続く中、適切な予算執行と事業運営に努めてまいりたいと考えております。令和 8 年度大崎地域広域行政事務組合教育委員会一般会計歳入歳出予算については以上になります。

(熊野教育長)

ただ今の説明について、御質問等はありませんか。

(「ありません。」という声あり)

(熊野教育長)

御質問がないようでありますので、(2) 令和 8 年度大崎地域広域行政事務組合教育委員会一般会計歳入歳出予算については、了といたします。

(熊野教育長)

続きまして、(3) プラネタリウム番組制作業務(秋冬・冬春番組)の進捗状況について、事務局より報告を求めます。

勝井生涯学習係長。

(勝井生涯学習係長)

教育委員会生涯学習係長の勝井と申します。私からは、プラネタリウム秋冬番組・冬春番組制作業務に係る契約事務の進捗状況について、御報告いたします。

それでは 1 ページ、プロポーザル基本方針を御覧ください。契約の方法は、令和 3 年度の契約等審査会の審議に付され、価格重視の競争入札ではなく、番組内容、集客力、満足度等を総合的に評価するプロポーザル方式を採用することとされており、本年度も引き続き同方式による番組選定を行うものです。

概要は記載のとおりで、今期は、秋冬番組 2 作品、冬春番組 1 作品、計 3 作品を一括して選定し、予算額は 3 作品で 987 万 4,590 円を上限とします。

2 ページを御覧ください。実施方式は、公募型プロポーザルです。公募型とは、公示により業者の参加を募る方式で、参加資格を満たす事業者から企画提案をしてもらいます。その実施方法はプロポーザル審査委員会を設置し、番組提案書、ヒアリング、映像試写などを行った上で優先交渉権者、次点者を選定します。参加資格は記載のとおりで、大崎市入札参加登録簿に記載の業者についても同様の参加資格があるものとみなします。

2 ページ 3 ページのスケジュールを御覧ください。5 月下旬、具体的には 5 月 28 日か 29 日いずれかの午後に第 1 回審査委員会を開催しまして、実施要領等の決定及び公告、6 月下旬に第 2 回審査委員会にて優先交渉権者の選定、7 月上旬に結果通知、公表及び事務局総務課へ契約締結依頼とします。3 番組を同時に審査し、秋冬番組 2 本を 8 月 28 日までに、冬春番組 1 本を 11 月 27 日までにそれぞれ据付を行います。プロポーザル審査委員会は、令和 3 年度に既に設置済であり、所掌の事務については記載のとおりです。委員は、プラネタリウム番組検討委員会の委員と教育次長を持って構成しております。基本方針については、以上です。

次に 4 ページから 5 ページを御覧ください。評価及び選考基準についてです。集客力、内容・演出、学習要素、価格の 4 点を軸に、それぞれの項目を細分化した上で評価します。

6 ページ、各委員の持ち点は、集客力 40 点、内容・演出 25 点、学習要素 25 点の 1 人 1 作品当たり 90 点で 3 作品分、合計 270 点とします。1 点から 5 点までの評価点をつけたうえで、2 倍から 4 倍までの重点加算を行い、点数化・採点します。また、価格については、番組企画提案書類で提出された見積書の金額に基づき事務局が計算します（最大 30 点）。その結果を価格評価確認書で報告したのち、審査票へ付加します。最終的に、委員の評価点と価格評価点を合算した総合計の高い順に 1 位、2 位を決めます。

8 ページ以降の仕様書につきましては、先ほどまでの説明と重複する部分がございますので、説明は割愛させていただきます。

なお、プロポーザル審査委員会は、今期に選定を行う秋冬番組・冬春番組については 2 回、次期に選定を行う春夏番組・夏秋番組についても 2 回を予定しており、年 4 回開催を予定していることを申し添えます。

以上で、進捗状況の報告とさせていただきます。

（熊野教育長）

ただ今の説明について、御質問等はありませんか。

（「ありません。」という声あり）

（熊野教育長）

御質問がないようでありますので、（3）プラネタリウム番組制作業務（秋冬・冬春番組）の進捗状況については、了といたします。

（熊野教育長）

続きまして、（4）大崎生涯学習センター事業経過報告について、各担当から報告を求めます。

大里総務係主幹。

(大里総務係主幹)

それでは、(4)大崎生涯学習センターの事業経過報告について御報告いたします。着座にて、失礼いたします。

資料の1ページを御覧ください。

これは、令和7年4月から令和8年3月までの1年間の施設利用状況について、前年度と比較したものでございます。上段が令和7年度、下段が令和6年度のデータとなっております。

横の列は各部屋の利用状況を、縦の列は自主事業及び施設利用(貸館)の状況を示しており、それぞれ合計及び前年度との比較増減を記載しております。

縦列の自主事業、施設利用(貸館)について御報告いたします。下から2行目の合計欄を御覧ください。

自主事業については、34,200人で、昨年度と比べて5,536人、19.3%の増となっており、増のほとんどがプラネタリウム館の入館者数によるものです。昨年の12月23日に開催した第3回教育委員会でもお話させていただきましたが、令和6年6月から、プラネタリウムの番組リーフレットを大崎管内にとどまらず、近隣の黒川地域、石巻地域、塩竈市、多賀城市、利府町、松島町、七ヶ浜町にも配布したことに加え、子どもに人気のあるキャラクター「ドラえもん」、「アンパンマン」、「すみっコぐらし」、「名探偵コナン」等の番組を投影したことにより、入館者数が大幅に増となっております。

なお、昨年8月17日開催した「パレット夏まつり」において、東北大学東北メディカル・メガバンク機構の協力により設置した「ゲームでVR体験」で334人の参加があり、メディア研修室の事業利用は、令和6年度が157人に対して、506人増の663人、約323%の増となっております。

続いて、施設利用(貸館)について、御報告いたします。令和7年度の貸館利用は46,878人で、令和6年度と比較して14,791人、46.1%の増となりました。これは、「宮城スマイルプロジェクト」主催、「大崎市教育委員会」後援による子育て支援イベントがパレットおおさき全館を使用して実施されたことや、昨年7月の参議院選挙、10月の宮城県知事選挙、2月の衆議院選挙における期日前投票が行われたことなどが要因となり、大幅な増につながったものです。

最後に令和7年度の自主事業・施設利用(貸館)の合計は、81,078人で令和6年度より、20,327人、33.5%の増となっております。

続きまして、資料の5ページをごらんください。

令和7年度に総務係で担当した事業について、御報告させていただきます。まず、第1回運営協力員会議を5月20日に開催いたしました。構成市町教育委員会からの推薦により、市町職

員各1名を運営協力員として委嘱し、任期は2年となっております。内容は、運営協力員の役割及び施設利用について、令和6年度事業報告及び令和7年度事業計画についての説明を行い、その後、出席者による情報交換を実施しております。

次に、第2回運営協力員会議を2月26日に開催し、令和8年度大崎生涯学習センターの重点目標、事業計画、使用料改定、ネーミングライツ事業等についての説明と情報交換を実施いたしました。

また、3月13日・14日に、大崎生涯学習センター利用者説明会を開催いたしました。施設利用者を対象に、施設利用料の改定、施設予約システムを活用した予約方法、新たな愛称について説明を行いました。出席者は2日間で8人、認定こども園、保育園、中学校、社会福祉連携推進法人、社会教育登録団体及び民間団体からの参加がございました。

以上で、総務係の事業経過報告といたします。

生涯学習事業につきましては、勝井生涯学習係長より報告いたします。

(勝井生涯学習係長)

あらためまして、生涯学習係長の勝井です。よろしくお願いいたします。

それでは、生涯学習係より、報告をいたします。着座にて、失礼いたします。

まずはじめに、令和7年度のプラネタリウム入館状況について報告いたします。

報告(4)大崎生涯学習センター事業経過報告についての2ページ「令和7年度プラネタリウム館入館状況」を御覧ください。表の上段が令和7年度で、下段が令和6年度です。右下の令和7年度の一般投影と学習投影の利用者合計は23,794人で、前年度に比べ、4,344人の増、率にして、22.3%の増です。番組プロポーザルにより選定された番組が大変好評で、特に夏休みシーズンに投影した「すみっこぐらし」が大きく集客を伸ばしました。今年度もより良い番組を選定し、集客増に努めてまいります。

次に学習投影の学校別利用状況をご説明いたします。3ページを御覧ください。圏域内の利用団体は小学校延べ38校、34の幼稚園・保育所、10の高校・支援学校等で、圏域外利用団体を合わせますと延べ139団体の利用がありました。学習投影に関しましては、全体的に利用が減少していますが、少子化による学校数・児童数の減少が影響しています。

続きまして、前回の教育委員会以降の事業経過報告をさせていただきます。

少しページが飛びまして10ページから11ページを御覧ください。プラネタリウム事業報告です。前回の教育委員会以降なので1月からの報告となります。

まず心苦しい内容ですが、2月23日に開催予定でした仙台市天文台の名誉台長土佐誠氏の天文講演会について、ご本人の深刻な健康上の理由により、延期という運びとなりました。今後ご回復されてあらためて開催できることを願っているところです。

続きまして、みんなの天文教室は、1月10日、2月14日、3月14日に開催しました。みんなの天文教室では、天文ボランティアによるプラネタリウム館を活用した星空解説や、天文ボランティアが撮影した星景写真の紹介などを行っており大変好評なイベントとなっております。

星をみる会も天文教室と同日に開催しており、天文ボランティアが中心となり、天体望遠鏡の組み立て・操作を行い、一般参加者への星空解説や天体観察を行っております。また今年は3月3日に皆既月食があり、特別企画として「皆既月食をみよう」を開催しましたが、天候に恵まれず、実際の月食をみることはできませんでした。しかし、プラネタリウム特別投影と、月食が見える地域のライブビューイングを行い、参加者には満足いただける内容となりました。

恒例イベントとなっている「パレット星空音楽会」は、2月7日に篠笛奏者・加藤廣直氏にご出演いただき開催しました。88人の来場者があり大盛況でした。

また、プラネタリウム事業においては、天文ボランティアの活動が不可欠であり、そのための支援をボランティア研修会として毎月実施し、みんなの天文教室や星をみる会に向けてのプラネタリウムの操作及び解説練習や、天体望遠鏡組み立て操作などを、天文ボランティアが自主的に行っております。令和7年度は、メディア研修室のパソコンを活用した、天体画像処理研修が盛り上がっており、遠隔地の天文ボランティアがオンラインミーティングで参加するなど、デジタル社会らしい新たなボランティア活動も始まっています。

続きまして、生涯学習推進事業について報告いたします。

資料の15ページを御覧ください。

1月からの事業説明です。1月25日・2月22日・3月1日に、大好評のみんなの部屋企画「こんなのやってるでショー」を開催、各月のテーマ作品を、子どもたちがボランティアに作り方の指導を受けながら制作し、参加者延べ138人、ボランティア延べ21人に参加していただきました。また、3月1日には「こんなのやってるでショー」の令和8年度に制作する作品の検討会を行い、今年度の開催準備をしたところです。

1月11日には、生涯学習講座「お正月を楽しもう」として、県内で活動されている「宮音座」を講師に、子どもから大人まで、獅子舞や太鼓などに触れるワークショップを実施しました。

2月16日には、同じく生涯学習講座「スポーツ鬼ごっこ」を、色麻町在住の社会福祉法人遊創の森の佐々木拓真氏を講師に開催しました。これは少し特殊な鬼ごっこで、参加した子どもたちはどうやってポイントを獲得するかチームで作戦を練って、頭と体を使いながら楽しみました。

2月8日には、今年度4月26日に開催する、パレットの3大イベントの1つ「小さなこどものまち」に参加するボランティアに対し、説明会を行い、当日の内容等について説明及び話し合いを行いました。

現在、開催に向け、ボランティアの準備会を、3月8日、15日、22日、29日の4日間開催、今月は2日間の準備会とリハーサルも終わり、いよいよ26日の当日を迎えます。子どものまち当日の参加者は、中学生・高校生・大学生・専門学生のボランティアが50人、大人のボランティアが6人、計56人のボランティア並びに当日参加予定の小学生150人となっております。

こちらについては、今年度は公平性を確保する狙いから、当日参加者を応募フォームを使ったオンラインでの募集とし、150人の定員に対して、超過した場合は抽選とする方式を取りました。205人の応募があり、重複応募が6人いましたので、199人の抽選対象者にExcelのRAND関数を用いた抽選を実施。150人が当選ということになりました。毎年大変人気のイベントとなっております。

続きまして、視聴覚事業について報告いたします。資料戻りまして、4ページを御覧ください。

令和7年度視聴覚教材貸出状況を報告いたします。上段の表が「16ミリフィルム」、中段が「VHS」、下段が「DVD」の貸し出し状況です。上段の16ミリフィルムにつきましては、表の右下の総計で、前年度に比べ、件数が30件で同数。視聴者数は142人の増です。中段のVHSにつきましては、利用なしです。下段のDVDにつきましては、表の右下総計で前年度に比べ、件数は42件の減、視聴者数は2,484人の減となっております。

視聴覚教材の利用については、年々減少しており、前年度から教材購入数を見直しているところで、今年度は需要がある防犯や交通安全などの社会教育教材を重点的に購入したいと考えています。

また、16ミリフィルムは、大変味のある映像で、その良さをPRするため、今年度は構成市町と連携し、公民館などに出張し16ミリフィルム映画会の開催も検討しています。

資料の18ページを御覧ください。

メディア研修室に関する事業につきまして、1月21日、22日にExcel入門、2月18日、19日にWord中級、3月18日、19日にExcel中級を開催しました。毎回ほぼ10人の定員に達している状況で、受講された方からも好評です。7年度は受講された方からの要望も反映し、Word・Excelそれぞれの中級講座を開催しました。今年はこちらも希望が多いスマホ講座の開催を考えています。

その他の事業では、当センター所有の映像教材を活用するパレット映画会を1月18日、3月1日に開催しました。2月22日は、一般劇場公開作品「ジュラシックワールド 復活の大地」をレンタルして映画会を開催し、131人の来場がありました。

以上で、生涯学習系の事業報告を終わります。

(熊野教育長)

ただ今の説明について、御質問等ございませんか。

(「ありません。」という声あり)

(熊野教育長)

御質問がないようでありますので、(4)大崎生涯学習センター事業経過報告については、了といたします。

(熊野教育長)

続きまして(5)ネーミングライツ事業について(経過報告)を事務局より説明を求めます。
大里総務係主幹。

(大里総務係主幹)

(5)ネーミングライツ事業について、御報告を申し上げます。着座にて、失礼いたします。
資料の1ページは、ネーミングライツ事業のポスターとなっており、館内に掲示しております。

資料の2ページを御覧ください。

この事業は、施設の愛称を命名する権利「ネーミングライツ」を活用することにより、愛称による施設への親しみや知名度の向上を図るとともに、自主財源の確保及び持続可能な運営体制の確立を目的として実施するものでございます。令和8年度は、組合として初めての取り組みとして、大崎生涯学習センターを対象といたしました。

財政計画額は令和8年度より年間50万円、歳入額としては年間77万円を計上しております。

これまでの経緯ですが、昨年10月1日に、新規制定の組合ネーミングライツ事業実施要綱を施行いたしました。

その後、昨年12月に、ネーミングライツパートナーの募集を行いましたところ、1者の応募がございました。

そして、今年1月8日に、ネーミングライツ審査会において審査を実施した結果、大崎市古川に本店を置く地域金融機関「古川信用組合」をパートナー企業として決定いたしました。

新しい愛称は「パレットふるしんホール」と決定し、1月27日には調印式が執り行われました。契約内容は、税込み年間82万5千円、3か年の契約でございます。

資料の3ページを御覧ください。

4月16日に、駐車場の北側に、高さ4メートル、横幅90cmの看板が設置されました。併せて、正面入口左側についても、新愛称の看板が取り付けられました。

なお、令和8年度の大崎生涯学習センター主催事業のポスターやチラシにつきましては、新

しい愛称「パレットふるしんホール」を掲載しております。

また、プラネタリウムの観覧料支払い時に発行されるレシートにも、「パレットふるしんホール」と印字されます。施設愛称の活用を通じ、大崎生涯学習センターが地域の皆様にさらに親しまれ、多くご利用いただけるよう取り組んでまいります。

以上、簡単ではございますが、ネーミングライツ事業についてのご説明とさせていただきます。

(熊野教育長)

ただ今の説明について、御質問等はありませんか。

鎌田委員。

(鎌田委員)

看板の青と白のマークは、パレットふるしんホールのマークですか。

(熊野教育次長)

水上教育次長。

(水上教育次長)

青と白のマークは、古川信用組合のマークです。

(鎌田委員)

承知しました。

(熊野教育長)

その他に、御質問はありませんか。

(「ありません。」という声あり)

(熊野教育長)

御質問がないようでありますので、(5) ネーミングライツ事業について(経過報告)については、了といたします。

(熊野教育長)

その他に入ります。事務局からありますか。

水上教育次長。

(水上教育次長)

事務連絡です。次回の教育委員会定例会ですが，8月の28日に総合教育会議開催する予定となっておりますので，同日に併せて開催する予定です。近くなりましたら，あらためて正式に御案内をいたしますが，8月28日，予定を入れていただけたら幸いです。

以上でございます。

(熊野教育長)

繰り返しになりますが，8月28日に教育総合会議と教育委員会定例会を開催する予定となっております。何時からにするか，決まっておりますか。

水上教育次長。

(水上教育次長)

時間については，まだ決まっておりません。事務局と調整して決定します。

(熊野教育長)

時間については，後日に連絡をさせていただきますので，日程を空けておいていただければと思います。よろしくお願いいたします。

その他に何かございますか。

(「ありません。」という声あり)

(熊野教育長)

それではないようでありますので，以上をもちまして会議の一切を終了とさせていただきます。ありがとうございました。

閉会 午前 11 時 10 分

上記記録の正確なることを認めここに署名する

令和 8 年 8 月 28 日

2 番委員 鎌田 稔

3 番委員 浅野 奈美